



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社
 コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小畑 一雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 新居 隆一 TEL 03-3458-5035
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	158,291	5.9	13,404	19.5	14,034	19.7	7,420	18.5
24年3月期第2四半期	149,437	2.1	11,216	△10.0	11,724	△10.7	6,264	△12.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 5,372百万円 (48.8%) 24年3月期第2四半期 3,611百万円 (24.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	72.63	—
24年3月期第2四半期	61.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	251,225	189,875	71.5
24年3月期	251,414	186,665	70.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 179,633百万円 24年3月期 176,513百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	2.8	27,000	5.8	28,000	3.7	17,000	5.5	166.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	110,881,044株	24年3月期	110,881,044株
25年3月期2Q	8,720,101株	24年3月期	8,717,927株
25年3月期2Q	102,162,174株	24年3月期2Q	102,170,042株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州政府債務危機等による世界経済の減速や長期化する円高等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は158,291百万円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益は13,404百万円（前年同四半期比19.5%増）、経常利益は14,034百万円（前年同四半期比19.7%増）、四半期純利益は7,420百万円（前年同四半期比18.5%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、77.57円/米ドル（前第2四半期連結累計期間は、76.65円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、海外においては欧州経済不安、中国経済不安等による需要の減退、国内においては円高・デフレ及び低調な水産物の消費マインド等で益々の競争激化となり、厳しい環境が続きました。このような状況の中、魚卵・マグロ・一般凍魚等を中心に開発・販売を積極的に行った結果、売上高は15,971百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。セグメント利益は、チリ産銀鮭を中心とした養殖鮭鱒の市況の悪化、水産加工場の一部において改修工事を行ったことによる償却費等の経費の増加が利益を押し下げ、161百万円（前年同四半期比67.4%減）となりました。

海外即席麺事業は、前年の第2四半期後半から第3四半期にかけて実施した値上げ効果と、その後引き続き行った積極的な販売活動により主に中米・南米を中心に販売数量が好調に推移した結果、売上高は28,512百万円（前年同四半期比12.2%増）となりました。セグメント利益は、一昨年からの世界的なコモディティ価格の上昇の影響を受け、主原材料等のコストが増加しましたが、一部原材料価格が安定したこと、また、値上げ及び拡販の効果により5,759百万円（前年同四半期比110.4%増）となりました。

国内即席麺事業は、カップ麺は「赤いきつねうどん」や「緑のためき天そば」、「麺づくり」といった基幹ブランドが昨年の震災後の集中生産・販売の反動で減収となりました。一方で、袋麺は新たに塩味を発売した「マルちゃん正麺」の好調な売上げにより、大幅な増収となりました。その結果、売上高は49,273百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。セグメント利益は、販売促進費等の増加により4,021百万円（前年同四半期比9.6%減）となりました。

低温食品事業は、生麺は主力品の焼そば類、冷し中華類はほぼ前年並みの推移でしたが、3玉うどん類、ラーメン類は競合品との価格競争等の影響により減収となりました。新製品関係ではレンジ調理を提案した「麺道楽」、乾麺戻し製法のビーフン類等の商品を投入しましたが、生麺全体の売上減少を補えませんでした。冷凍食品類は、外食産業及び事業用給食向けの冷凍麺が伸張し、冷凍野菜類も好調に推移しました。その結果、売上高は32,488百万円（前年同四半期比2.3%減）、セグメント利益は2,080百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

加工食品事業は、米飯は前年に東日本大震災の影響を受けましたが、生産ラインが復旧したことにより増収となりました。スープ類は簡便・本物志向に対応した「7種の野菜を食べるスープ」シリーズのカップスープが堅調に推移しました。その結果、売上高は8,334百万円（前年同四半期比6.3%増）となりましたが、原料米等の原材料価格の高騰もあり、セグメント損失は26百万円（前年同四半期はセグメント利益237百万円）となりました。

冷蔵事業は、積極的に集荷活動を行ったことにより、東日本大震災の影響により高い水準で推移した前年同様の入在庫量及び保管量となりました。その結果、売上高は7,614百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。セグメント利益は、電力料金の値上げによる動力費の増加やコンピューターシステムの更新費用等の増加もありましたが、業務及び経費を見直し、コストを削減したことにより726百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。売上高は16,098百万円（前年同四半期比5.4%増）、セグメント利益は1,051百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は189百万円減少し251,225百万円、純資産は3,210百万円増加し189,875百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に現金及び預金、機械装置及び運搬具、建設仮勘定が増加し、受取手形及び売掛金、有価証券が減少しました。負債は、主に未払費用、未払法人税等が減少しました。純資産は、主に利益剰余金が増加し、為替換算調整勘定が減少しました。

この結果、自己資本比率は71.5%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ425百万円（1.1%）増加し、39,828百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ4,953百万円（50.3%）増加の14,809百万円となりました。これは主に、売上債権の減少額の増加、税金等調整前四半期純利益の増加、たな卸資産の増加額の減少によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ7,193百万円（166.9%）増加の11,502百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出の増加、有形固定資産の取得による支出の増加によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ747百万円（25.9%）減少の2,139百万円となりました。これは主に、短期借入れによる収入の増加、短期借入金の返済による支出の減少によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に関する事項につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が想定した範囲内で推移しているため、平成24年5月11日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ118百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,207	45,168
受取手形及び売掛金	48,746	44,177
有価証券	17,001	16,000
商品及び製品	16,502	16,613
仕掛品	211	250
原材料及び貯蔵品	4,124	4,277
繰延税金資産	1,542	1,765
その他	3,370	3,123
貸倒引当金	△511	△503
流動資産合計	134,196	130,873
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,187	43,759
機械装置及び運搬具(純額)	21,389	23,624
土地	28,595	28,558
建設仮勘定	2,176	3,956
その他(純額)	1,232	1,349
有形固定資産合計	97,581	101,248
無形固定資産		
その他	2,051	2,077
無形固定資産合計	2,051	2,077
投資その他の資産		
投資有価証券	14,947	14,518
繰延税金資産	1,742	1,686
その他	895	821
投資その他の資産合計	17,585	17,025
固定資産合計	117,218	120,351
資産合計	251,414	251,225

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,997	21,289
短期借入金	325	287
1年内返済予定の長期借入金	12	—
未払費用	17,208	15,915
未払法人税等	4,541	3,326
未払事業所税	69	27
未払消費税等	322	308
繰延税金負債	3	3
役員賞与引当金	156	48
その他	2,228	2,275
流動負債合計	46,865	43,482
固定負債		
繰延税金負債	885	763
退職給付引当金	15,626	15,874
役員退職慰労引当金	129	118
負ののれん	375	300
資産除去債務	310	307
その他	556	502
固定負債合計	17,883	17,866
負債合計	64,749	61,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,516	22,516
利益剰余金	158,052	163,429
自己株式	△8,129	△8,133
株主資本合計	191,408	196,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	322	617
繰延ヘッジ損益	259	△48
為替換算調整勘定	△15,478	△17,717
その他の包括利益累計額合計	△14,895	△17,148
少数株主持分	10,152	10,242
純資産合計	186,665	189,875
負債純資産合計	251,414	251,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	149,437	158,291
売上原価	95,362	99,205
売上総利益	54,075	59,085
販売費及び一般管理費	42,858	45,680
営業利益	11,216	13,404
営業外収益		
受取利息	68	126
受取配当金	158	168
持分法による投資利益	6	—
賃貸収入	209	203
雑収入	302	373
営業外収益合計	745	872
営業外費用		
支払利息	4	2
賃貸収入原価	48	46
為替差損	113	75
雑損失	70	104
持分法による投資損失	—	12
営業外費用合計	237	242
経常利益	11,724	14,034
特別利益		
固定資産売却益	6	2
受取補償金	—	42
その他	5	3
特別利益合計	12	48
特別損失		
固定資産除売却損	113	309
投資有価証券評価損	491	823
災害による損失	122	—
減損損失	8	1
その他	7	14
特別損失合計	743	1,148
税金等調整前四半期純利益	10,993	12,934
法人税、住民税及び事業税	4,479	5,416
法人税等調整額	△51	△118
法人税等合計	4,427	5,297
少数株主損益調整前四半期純利益	6,565	7,636
少数株主利益	301	216
四半期純利益	6,264	7,420

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,565	7,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	491	290
繰延ヘッジ損益	△238	△307
為替換算調整勘定	△3,219	△2,239
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△8
その他の包括利益合計	△2,954	△2,264
四半期包括利益	3,611	5,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,314	5,176
少数株主に係る四半期包括利益	296	195

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,993	12,934
減価償却費	4,762	5,106
減損損失	8	1
災害損失	122	—
のれん償却額	20	0
負ののれん償却額	△75	△75
持分法による投資損益 (△は益)	△6	12
投資有価証券評価損益 (△は益)	491	823
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	99	248
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△16	△11
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	15	△107
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△8
受取利息及び受取配当金	△227	△295
支払利息	4	2
為替差損益 (△は益)	113	75
有形固定資産除売却損益 (△は益)	106	306
売上債権の増減額 (△は増加)	1,266	4,450
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,863	△464
仕入債務の増減額 (△は減少)	248	△609
未払費用の増減額 (△は減少)	△766	△1,095
その他	△1,096	38
小計	13,200	21,331
利息及び配当金の受取額	227	265
利息の支払額	△4	△2
災害損失の支払額	△625	△111
法人税等の支払額	△2,941	△6,672
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,856	14,809
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△196	△1,767
定期預金の払戻による収入	336	136
有形固定資産の取得による支出	△4,278	△9,817
有形固定資産の売却による収入	45	5
無形固定資産の取得による支出	△225	△298
投資有価証券の取得による支出	△8	△9
投資有価証券の売却による収入	—	6
貸付けによる支出	△1,132	△1,055
貸付金の回収による収入	1,153	1,169
その他	△2	126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,309	△11,502

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	616	915
短期借入金の返済による支出	△1,272	△830
長期借入金の返済による支出	△26	△12
配当金の支払額	△2,043	△2,043
少数株主への配当金の支払額	△103	△104
その他	△58	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,887	△2,139
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,734	△741
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	924	425
現金及び現金同等物の期首残高	55,952	39,402
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	39	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,916	39,828

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	14,987	25,421	45,063	33,260	7,842	7,594	134,170	15,279	149,449	△12	149,437
セグメント間の内部 売上高又は振替高	373	—	0	—	0	469	843	266	1,110	△1,110	—
計	15,361	25,421	45,064	33,260	7,843	8,063	135,014	15,545	150,559	△1,122	149,437
セグメント利益	496	2,737	4,450	2,095	237	649	10,668	962	11,630	△413	11,216

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。

2 外部顧客への売上高の調整額△12百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益の調整額△413百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△650百万円、棚卸資産の調整額△29百万円及びその他の調整額266百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	15,971	28,512	49,273	32,488	8,334	7,614	142,196	16,098	158,294	△3	158,291
セグメント間の内部 売上高又は振替高	348	—	1	—	0	470	819	277	1,097	△1,097	—
計	16,320	28,512	49,274	32,488	8,334	8,084	143,016	16,376	159,392	△1,100	158,291
セグメント利益 又は損失(△)	161	5,759	4,021	2,080	△26	726	12,723	1,051	13,775	△370	13,404

- (注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。
- 2 外部顧客への売上高の調整額△3百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益又は損失の調整額△370百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△610百万円、棚卸資産の調整額△5百万円及びその他の調整額245百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。